



国際自然保護連合(IUCN)による現地調査が行われました。

◆今年1月に「小笠原諸島」を世界自然遺産に推薦したことを受けて、登録審査の一環として、世界遺産委員会の諮問機関である国際自然保護連合(IUCN)の専門家による調査が7月2日(金)から15日(木)に行われました。ご協力ありがとうございました。

調査の様子

◆視察の行程◆

※ 父島 (pink) 母島 (cyan)

日付	内容
7/2 金	内地での説明(価値、管理計画)
7/3 土	移動(竹芝発)、船上視察
7/4 日	移動(父島着)、父島
7/5 月	火山列島船上視察(3島クルーズ)
7/6 火	兄島、父島列島ヘリ視察
7/7 水	母島列島ヘリ視察
7/8 木	父島列島船上視察 外来種対策・NPO活動視察

日付	内容
7/9 金	南島
7/10 土	移動(父島→母島)、向島
7/11 日	石門、母島列島船上視察
7/12 月	南崎・御幸浜、移動(母島→父島)
7/13 火	記者会見、移動(父島発)
7/14 水	移動(竹芝着)
7/15 木	行政機関との意見交換会



調査中のコメント

◆調査中に出たコメントと、この調査の結果を受けて9月に寄せられた IUCN からの指摘事項は次のような内容でした。

◆調査者の感想◆

評価	今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・美しい島しょ生態系である。 ・外来種の問題があるが、ここ数年の間、しっかりと対策が行われてきたことを評価する。 ・関係機関や NPO・NGO が協力して努力していることについて称賛する。 ・多くの成果を得ていることが素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の海域公園地区を遺産区域に含めてはどうか ・外来種対策を継続すること。また種によっては根絶ではなくコントロールすることについても考えていくこと ・観光客の来島時に伴う外来種の持込について対策を行うこと

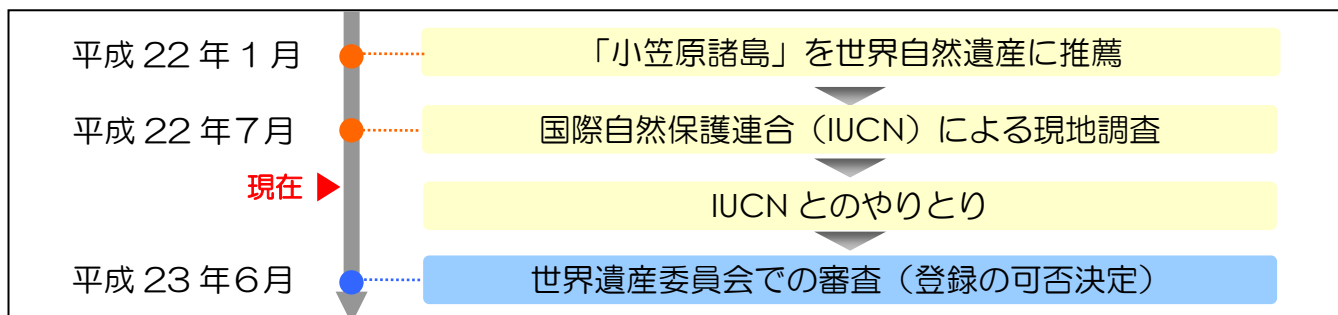
◆IUCN からの指摘事項◆

- ・既存の海域公園地区を遺産区域に含めること
- ・遺産区域がバッファゾーンに囲まれていることを明らかにすること
- ・外来植物の分布についての情報提供



今後のスケジュール

◆今後來年の2月までに、IUCN からの指摘事項に対して回答するなどのやりとりを行います。その後、平成 23 年6月に開催される世界遺産委員会で世界遺産への登録の可否が決定される見込みです。



～世界自然遺産登録に向けた会議のご案内～

- ◆小笠原諸島の世界自然遺産への登録に向けて、地元の代表者などにより、IUCN からの指摘事項にどのように対応していくかを検討する会議を行います。
- ◆公開の会議ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

【地域連絡会議】

- ◇日時：10月15日（金）
16時50分～18時15分頃
- ◇場所：父島地域福祉センター2階会議室
- ◇主な議題：IUCN 視察後の対応について
ほか

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所 立田

Tel/Fax：04998-2-7174/7175
Email：RIICHIRO_TATSUTA@env.go.jp

小笠原総合事務所

小笠原諸島森林生態系保全センター 原田
Tel/Fax：04998-2-2103/2650
Email：masaaki_harada@rinya.maff.go.jp

東京都小笠原支庁 今井

Tel/Fax：04998-2-2123/2302
Email：Masami_Imai@member.metro.tokyo.jp

小笠原村総務課企画政策室 柴垣

Tel/Fax：04998-2-3111/3222
Email：shibagaki@vill.ogasawara.tokyo.jp